

# 医薬・中間体向け原料拡販

## 森六

森六は、医薬品・医薬品中間体向け原料の提案を強化する。海外の有効化薬品メーカーの国内総代理店として、臭素化合物や酸化ホウ素ナトリウムなどの提案に磨きをかける方針。安定供給体制や環境意識の高まりに応える高付加価値製品などを訴求することで、さらなる拡販へとつなげる。今後は展示会への出展を通して知名度の向上を図るなど、国内市場でシェア拡大を実現していく。

森六が総代理店として国内展開するChemada（ケマダ社、イスラエル）は、医薬・農薬の原料や中間体、有機合成のパーツとして不可欠な臭素化合物を手がける。最大の強みは、原料となるイスラエルの死海由来の臭素が持つ供給の安定性と不純物の少なさだ。気候の影響を受けやすい

他国の原料に比べ、年間を通して安定した品質と収量を誇る。

昨今の中東情勢下でも工場は正常稼働しており、代替海上ルートを確認し国内供給への影響はないという。直近でも国内への輸入実績を順調に重ねている。さらに、カタログ品にない化合物の受託合成検討にも柔軟に

臭素化合物  
不純物少なく供給安定  
酸化ホウ素  
ナトリウム  
ハンドリング性に評価



イスラエル・ケマダ社の臭素化合物プラント

応じる技術力を有しており、顧客の個別ニーズに合わせた共同開発を進めている。

もう一方の柱であるKemira（ケミラ社、フィンランド）とは、20年以上にわたる強固なパートナーシップを築いている。同社の選択的還元剤である水酸化ホウ素ナトリウム「Hydrifin」は、主に医薬・農薬分野の有機合成反応に用いられる。危険物に該当するが、比較的マイルドな反応条件でプロセスを進行できるため、工場での大量使用時におけるハンドリングの良さが顧客から高く評価されている。

また、ケミラ社は世界的な付ステナビリティ評価機関であるエコバディスの認証で上位5%のゴールド評価を取得している点も大きな強みだ。環境配慮や持続可能性を重視する国内の化学・医薬

メーカーからの引き合いで、選定の大きな後押しとなっている。森六では、需要の高い製品を中心に国内在庫を確保しており、顧客からの急な増産要請や注文にも即座に対応できる安定供給体制を確立している。

ケマダ社とケミラ社の製薬は徐々に国内売り上げを伸ばし、新規案件の動きも始まっている。一方で、日本国内におけるさらなる知名度の向上が当面の最優先課題となる。化学品が持つ独自の性能や高い技術力を日本の顧客に周知するため、森六は展示会出展やウェブサイトの拡販を通して認知度を引き上げる。独自のカスタマイズ対応と手厚いサポート体制をアピールし、国内の化学品市場でさらなる新規案件の獲得を加速させていく。